

2019年度 第25回「富士市民大学前期ミニカレッジ」

主催：富士市教育委員会

趣 旨

「富士市民大学前期ミニカレッジ」は、各専門分野に精通している教授陣や地域の有識者と連携を図り、高度で有益な学習の機会を提供します。

今回も様々な分野から、全7科目の講座をご用意しました。どうぞお気軽にご参加ください。

講 座 内 容

No.	科 目	時間・曜日	期間・回数	定員・受講料	会 場
1	表現力アップ！ 読み聞かせ・話し方講座	19:00～20:30 火曜日	5月21日～ 7月16日 9回	25人 3,000円	富士市教育プラザ
2	暮らしを支える科学技術の未来 ～モノづくりが拓く未来を読み解く～	19:00～20:30 火曜日	5月21日～ 7月16日 6回	60人 2,500円	富士市文化会館 (ロゼシアター)
3	知っておきたい薬と健康の 基礎知識	19:00～20:30 水曜日	6月 5日～ 7月31日 6回	60人 2,500円	富士市教育プラザ
4	市民歴史講座「江戸時代のお殿さま」 ～静岡県はだれが治め支配していた？～	19:00～20:30 水曜日	5月29日～ 7月 3日 6回	90人 2,500円	ラ・ホール富士 5階研修室
5	地学講座「富士山と駿河湾と地球環境の 新たな視点」（実地研修あり）	19:00～20:30 主に木曜日	5月23日～ 7月11日 6回	40人 2,500円※	主に富士市教育プラザ
6	こころとカラダのストレス管理 ～健やかに生きるためのすすめ～	19:00～20:30 木曜日	5月23日～ 6月27日 6回	60人 2,500円	富士市文化会館 (ロゼシアター)
7	文学講座「国宝『源氏物語絵巻』の 世界に触れる」	13:30～15:00 土曜日	5月25日～ 6月29日 6回	50人 2,500円	富士市教育プラザ

※地学講座は、別途負担金（バス代等 1,300円程度）が必要です。

申 し 込 み

★定員を超えた講座については、抽選にて受講生を決定します。受講料は、抽選後の納入となります。
4月17日（水）に抽選を行い、申込者全員に郵送にて受講可否の連絡をします。

★すべての講座において、ペア申込が可能です。申込時に1人申込またはペア申込どちらか選択してお申し込みください。（重複申込不可）

1. 申込対象 富士市・富士宮市に在住、在勤、在学の15歳以上の方。（中学生は除きます。）

2. 受付期間 4月10日（水）～4月15日（月）

3. 申込方法

①窓口で直接来て申し込む場合（土・日曜日は除く。）

以下の受付場所にある所定の申込用紙に記入し、お申し込みください。

9:00～21:00 富士市教育プラザ1階社会教育課（0545-55-0560）

9:00～21:00 各地区まちづくりセンター

9:00～17:00 富士市役所8階文化振興課（0545-55-2875）

9:00～17:00 富士宮市役所6階社会教育課（0544-22-1186）

受付時間・場所

②インターネットから申し込みをする場合（期間中 24 時間受付）

●スマートフォンからの申し込み

(1) 右記にある 2 次元バーコードをスマートフォンのバーコードリーダー機能で読み取ってください。



(2) 表示された URL にアクセスします。

(3) 申し込みフォームに必要事項を入力し、最後に「申し込む」ボタンを押します。

(4) しばらくするとメールが届くので、確認できたら申し込み完了です。

※携帯電話では利用できません。一部のスマートフォンにおいても利用できない場合があります。

●パソコンからの申し込み

(1) 検索ソフトに『富士市民大学前期ミニカレッジ』というキーワードを入れて検索します。



(2) ページ内『【第 25 回富士市民大学前期ミニカレッジ】入学申込』をクリックします。

(3) 申し込みフォームに必要事項を入力し、最後に「申し込む」ボタンを押します。

(4) しばらくするとメールが届くので、確認できたら申し込み完了です。

※お使いのパソコンの動作環境によっては、利用できない場合があります。

●電子申請をする場合の注意点

(1) メールを受信について

お申し込みいただいた方の受信拒否設定により、受付確認メールが届かない場合があります。

ご自身で設定していない場合でも、初期設定で受信拒否になる場合もございますので、確実に、次のドメインを受信できるように設定の変更をお願いします。

『elg-front.jp』『div.city.fuji.shizuoka.jp』

(2) 複数講座の申し込みについて

複数の講座に申し込む場合は、先に選択した講座の申し込みが完了した後、再度、別の講座を選択してお申し込みください。

No.1 表現力アップ！読み聞かせ・話し方講座 ～プロから学ぶ「表現の楽しさ」「言葉の大切さ」「日本語の美しさ」～

子ども達への読み聞かせ、会議や会合でのプレゼンテーション、人とのコミュニケーションなどあらゆる場面で求められる「表現力」。自分の考えや思いを言葉にのせて伝える「表現力」を身につけましょう。

①	5月21日 (火曜日)	「声を出す」ということ 普段なにげなく使っている「声」をもっと知りましょう。	⑥	6月25日 (火曜日)	「音を出す」ということ いい音を出す楽器も調整しなければ、鳴ってくれません。
②	5月28日 (火曜日)	「伝える」ということ 「伝わらない」のではなく「伝えていない」ということはありませんか？	⑦	7月2日 (火曜日)	「しっかり伝える」ということ 「伝える」ことの真の難しさを考えましょう。
③	6月4日 (火曜日)	「読む」ということ 文字を「読む」のではなく、文を「読む」のです。	⑧	7月9日 (火曜日)	「語る」ということ 自分の考え・思いを伝えるには…
④	6月11日 (火曜日)	「表現する」ということ オーバーに言い表すことが「表現」ではありません。	⑨	7月16日 (火曜日)	「響く」ということ 聞く人の耳に届き、心に響く表現を目指しましょう。
⑤	6月18日 (火曜日)	「言葉の意味」ということ ひとつひとつの言葉の意味を考えましょう。	担当講師：フリーアナウンサー・新朗読家 杉山 直		

※定員を超える申し込みがあった場合は、初めて受講される方を優先します。

No.2 暮らしを支える科学技術の未来 ～モノづくりが拓く未来を読み解く～

静岡理科大学は、県内唯一の私立理工系総合大学として、日々様々な研究に取り組んでいます。近年では、ロボット革命やAI革命が叫ばれ、急速に科学技術が進歩し、様々な用語が新聞紙上を飛び交っています。新しい時代は、科学技術が私たちの生活を支援し、生活環境が変化すると言われています。

今回は、その時代を迎える前に、科学技術がどのように私たちの生活に関わるかの基礎知識やその進展と今後の展望について、本学教員の研究に触れながらご紹介いたします。

①	5月21日 (火曜日)	アイデア発想を支援するシステムと 作文を自動で行うシステムの開発①	静岡理科大学 情報学部 コンピュータシステム学科 教授 金久保 正明
②	5月28日 (火曜日)	アイデア発想を支援するシステムと 作文を自動で行うシステムの開発②	静岡理科大学 情報学部 コンピュータシステム学科 教授 金久保 正明
③	6月4日 (火曜日)	身の回りのIoT (Internet of Things) 分散協調型の新しい電力管理の枠組みの構築①	静岡理科大学 理工学部 電気電子工学科 准教授 加藤 丈和
④	6月18日 (火曜日)	身の回りのIoT (Internet of Things) 分散協調型の新しい電力管理の枠組みの構築②	静岡理科大学 理工学部 電気電子工学科 准教授 加藤 丈和
⑤	7月2日 (火曜日)	人間の五感による 知覚・認知・感性的な評価からのモノづくり①	静岡理科大学 情報学部 コンピュータシステム学科 准教授 櫻井 将人
⑥	7月16日 (火曜日)	人間の五感による 知覚・認知・感性的な評価からのモノづくり②	静岡理科大学 情報学部 コンピュータシステム学科 准教授 櫻井 将人

No.3 知っておきたい薬と健康の基礎知識

健康で長生きすることは誰しもの願いです。医療・介護に依存しないで、日常生活を支障なく過ごすためには、「薬」「食品」「食事」「健康」について正しい知識を持つことが必要になります。

この講座では、生涯にわたる健康の保持のために必要なことを、静岡県立大学薬学部と食品栄養科学部の教員がわかりやすくお話しします。

①	6月5日 (水曜日)	薬の基礎知識 ～身近な薬からドーピングまで～	静岡県立大学 薬学部 准教授 坂本 多穂
②	6月12日 (水曜日)	迫りくる「心不全パンデミック」 ～心不全からわが身を守ろう～	静岡県立大学 薬学部 教授 森本 達也
③	6月26日 (水曜日)	クスリの生体内運命と相互作用のお話	静岡県立大学 薬学部 教授 尾上 誠良
④	7月3日 (水曜日)	糖尿病から身を守る ～上手につきあい健康寿命を全うするためのトリセツ～	静岡県立大学 食品栄養科学部 教授 保坂 利男
⑤	7月17日 (水曜日)	抗ストレス作用物質について	静岡県立大学 薬学部 講師 伊藤 由彦
⑥	7月31日 (水曜日)	健康長寿を支える食環境 ～フードマネジメントからのアプローチ～	静岡県立大学 食品栄養科学部 教授 市川 陽子

No.4 市民歴史講座 「江戸時代のお殿さま」 ～静岡県はだれが治め支配していた?～

江戸幕府を開いた徳川家康は、将軍職を子・秀忠に譲ったあと駿府（現静岡市）を居城とし、そこで大御所政治を行いました。その後、静岡県の大部分は家康の孫・徳川忠長が治めました。しかし忠長の改易後、静岡県は幕府の代官や旗本、藩などの様々な領主「お殿さま」が治める複雑な地域となります。今回の講座では、静岡県の江戸時代について、徳川家康をはじめ様々なお殿さまやその支配の視点から紹介します。

①	5月29日 (水曜日)	駿府政権の大御所「徳川家康」	静岡大学 名誉教授 本多 隆成
②	6月5日 (水曜日)	徳川政権の東海道整備と吉原宿	御殿場南高校、駒澤大学 非常勤講師 厚地 淳司
③	6月12日 (水曜日)	駿河大納言「徳川忠長」	東洋大学 非常勤講師 聖徳大学 兼任講師 小池 進
④	6月19日 (水曜日)	韮山代官江川氏の幕府領支配	NPO 法人伊豆学研究会理事長 江川文庫嘱託学芸員 橋本 敬之
⑤	6月26日 (水曜日)	富士市内の様々なお殿さま	静岡大学 人文社会科学部 准教授 松本 和明
⑥	7月3日 (水曜日)	明治維新により誕生した「静岡藩」と藩主徳川家達	東北学院大学 東北文化研究所客員研究員 杉山 容一

No.5 地学講座「富士山と駿河湾と地球環境の新たな視点」

私たちが暮らす富士市は、日本一高い富士山と日本一深い駿河湾などの恵まれた自然環境に囲まれています。身近だからこそ、当たり前存在していると考えてしまいがちな富士山や駿河湾ですが、知れば知るほど多くの魅力が潜んでいます。この講座では、地学の視点から改めて富士山や駿河湾に注目し、その生い立ちや形成、災害予測、さらには地球環境の歴史にも触れながら、解説していきます。

①	5月23日 (木曜日)	富士山の生い立ちと噴火史 火山としての富士山の生い立ち、噴火の歴史、火山ならではの恩恵、世界遺産との関係などについて解説します。	静岡大学 地域創造学環 教授 小山 真人
②	6月6日 (木曜日)	富士山の災害予測と防災 噴火現象についての基礎知識、富士山のハザードマップと災害予測、避難計画と登山者対策について解説します。	静岡大学 地域創造学環 教授 小山 真人
③	6月20日 (木曜日)	駿河湾の形成 ふじのくにの中央に位置する駿河湾が地球の歴史の中でどのようにつくりだされてきたか。これまでの演者の駿河湾とその周辺での地質調査の結果から解明した驚くべき事実をお話します。	ふじのくに地球環境史ミュージアム 客員教授 柴 正博
④	6月22日 (土曜日) 9:00～ 15:00	《実地研修》ふじのくに地球環境史ミュージアムの役割 ふじのくに地球環境史ミュージアムは2016年3月に開館した静岡県立の自然史系博物館です。その博物館の展示と収蔵、教育活動を実際に見学いただき、静岡県にとってのその役割を理解していただければと思います。	ふじのくに地球環境史ミュージアム 客員教授 柴 正博
⑤	7月4日 (木曜日)	駿河湾海底散歩 駿河湾の海底は、山あり谷あり、複雑な地形が発達しています。この複雑な地形はどのようにしてできたのでしょうか？この地形の成因と、深海に住む生物の映像も含めながら、駿河湾の神秘を覗いてみたいと思います。	東海大学 海洋学部 准教授 坂本 泉
⑥	7月11日 (木曜日)	海底から地球の動きを探る 日本は地震と火山災害が多く、自然災害大国です。これらは地球の内部からのエネルギーが起源とされています。現在海洋域から地球の動きを解明する試みが行われています。海洋を舞台に、地球の動きを捉える最先端の調査研究を紹介します。	東海大学 海洋学部 准教授 坂本 泉

No.6 こころとカラダのストレス管理 ～健やかに生きるためのすすめ～

いつまでも健康でありたいと願うのは私たちみんなに共通する思いです。しかし、現代というストレス社会においては心身の健康は常にリスクにさらされています。

この講座では、リラクゼーション、メンタルトレーニングの技法を学び、上手にストレスとつきあっていくコツを学びます。たくましく、そしてしなやかに、生き生きと毎日を過ごしてみませんか？

①	5月23日 (木曜日)	心と体のリラクゼーションについて① ～解説と実践(呼吸法、筋弛緩法)～	常葉大学 教育学部 教授 佐瀬 竜一
②	5月30日 (木曜日)	心と体のリラクゼーションについて② ～解説と実践(自律訓練法、瞑想)～	常葉大学 教育学部 教授 佐瀬 竜一
③	6月6日 (木曜日)	ストレスマネジメントについて① ～ストレスについて知ろう～	常葉大学 教育学部 教授 伊東 明子
④	6月13日 (木曜日)	ストレスマネジメントについて② ～上手なストレスとのつきあい方～	常葉大学 教育学部 教授 伊東 明子
⑤	6月20日 (木曜日)	メンタルトレーニングについて① ～解説と実践(目標設定技法、セルフトーク技法)～	常葉大学 教育学部 准教授 百瀬 容美子
⑥	6月27日 (木曜日)	メンタルトレーニングについて② ～解説と実践(イメージトレーニング法、動作法)～	常葉大学 教育学部 准教授 百瀬 容美子

No.7 文学講座「国宝『源氏物語絵巻』の世界に触れる」

『源氏物語』が書かれてから約100年後に描かれたとされる『源氏物語絵巻』は、現在、2つの美術館に収められ、国宝に指定されています。この講座は、その、国宝『源氏物語絵巻』の絵を眺め、物語の雰囲気味わいつつ、『源氏物語』を読解することを目的としています。

講義では、国宝『源氏物語絵巻』のなかからいくつかの場面を採りあげ、その場面に対応する物語の一部分を、語彙や語法に細かく注意を払いながら読解していきます。また、絵を眺めながら、『絵巻』が作られた背景や当時の時代背景についても概説します。

①	5月25日 (土曜日)	国宝『源氏物語絵巻』が作られた背景を知る
②	6月1日 (土曜日)	「蓬生」を読む
③	6月8日 (土曜日)	「関屋」「絵合」を読む
④	6月15日 (土曜日)	「柏木①」を読む
⑤	6月22日 (土曜日)	「柏木②」を読む
⑥	6月29日 (土曜日)	「柏木③」「横笛」を読む

担当講師：静岡県立大学 国際関係学部 准教授 竹部 歩美

※講師・各回テーマ・順番・日程については、都合により変更となる場合があります。

※職名は平成31年1月現在です。